●其後の八幡製鐵所

平常の狀態に復す

堂山工場今尚不穩の形勢あり

官憲の警戒嚴重を極む

怠業後の八幡製鐵所は今尚警官憲兵の嚴重なる警戒の下に作業をなしつゝあるが十二日朝の交代時に入場したる職工一萬五百人直傭人夫四千二百二十六人々夫九百六十九人に及殆ど怠業前と異らざる狀態となりたるが今尚ほ堂山工場の鍛冶工場・製鐵工場・機關工場に不穩の形勢あり同工場に於ける職工は最も實ノ惡き者

警戒に任ずる事となりたるが白下の處何程か警官を殘留せしむるか十二日午後二時までには決定を見るに至らず巡査廿四名だけ引揚げたり尚應援のため八幡中なる憲兵も岡山・廣島・姫路の他の

◇遠方より出張し來り居れる憲兵だけは十二日引揚げ福岡小倉地方より來援せる憲兵のみ殘つて警戒をなすことゝなりたり

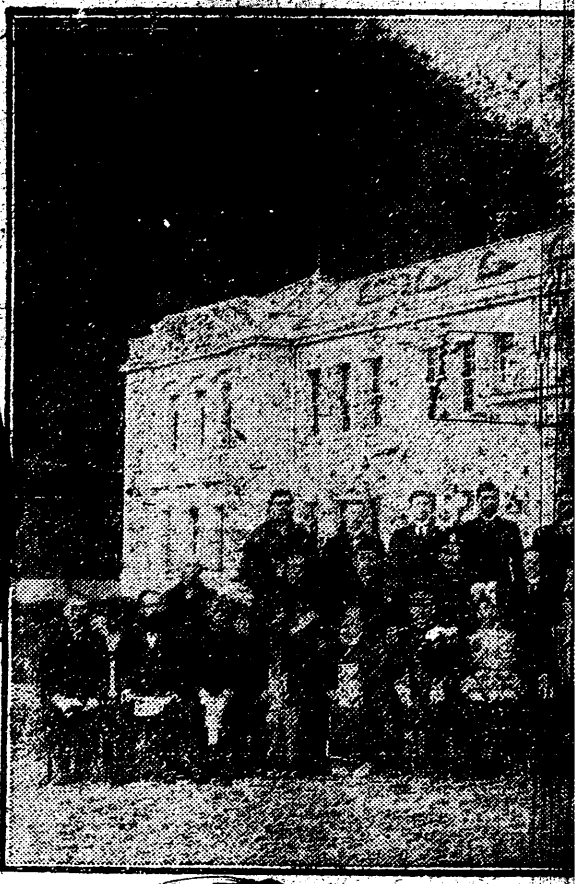
野貞幹・田村正夫等演說をなしたり

▲又一人收監

勞友會の幹事

八幡警察署に於て取調べ中なりし勞友會幹事廣安泰一は十二日午前十時三十分小倉分監に收監されたり

▲撿事正引揚



されし人

◇時間短縮は自分一個の意見でもこれを短縮し得ないことはないが各官廳の時間と同一のものとしたい考へを以てゐるこれに就ては幸田島庶務部

べしと新聞の報導區々にして一つも眞を傳へ居らざるが長官の談に依れば未だ細査なるをなさざるを以て正確の事は判明せざるも十萬圓内外の見込なりといふ